

花のある人

赤坂の芸者置屋のおかみから聞いた話を、本で読んだことがあります。

- 1、「はい」と言う素直な心。
- 2、「ありがとう」という感謝の気持ち。
- 3、「私がします」という奉仕の気持ち。

4、「お蔭様で」という謙虚な気持ち。

5、「ごめんなさい」という反省の気持ち。

6、人には「愛」を、花には「水を」

7、初心忘れべからず。

8、言い訳は口答え。

人間が持つべき教養と品性は男も同じく欠かせない。

花のある人は周囲を幸せにする力がある。

室町時代の「風姿花伝書」によれば内面と外面、姿態振る舞いとこころ精神のあり方、花はこの絶妙な妙、調和から生み出されるもの。行いが美しいかどうか、美意識が必要だろう。

日本人が築いた吉原の太夫文化は、我が国が育んだ男と女の「粋な」独自文化である。
クールジャパンです。

商店街の明日

商店街は1930年代、日本が商店街を発明。商店街は滅びる？守りの姿勢、スーパー対策、補助金依存が衰退の経緯です。タバコ・酒等の免許、家族間譲渡。プラスの規制が敗因か？。農業問題とどこかに似ている。人が集まる仕掛け

自然の癒し

梅雨入り前、天候が安定し若葉が溢れる、この季節の戸外は実に気持ちがいいものです。最近山ガールならぬ本格的な自転車ガールが山間部にも増えました。先の土曜日に、鳥越小学校のグラウンド横を通った時にちょうど春の運動会が行われていました。子供たちの競



争は今男女混合、時代を感じます。すべての走者が競い合いでも転倒者は一人もいなく完走、練習量からか自然人的なのか？。次の花笠音頭の演舞、動きに伸びと力強さに、内面を見たような気がする。女性教師たちの熱意が反映している。それよりも地域全体から来る都会にない心を感じる。前からですが、子供達は通過するだけの人にも、こんにちわと挨拶してきます。笑顔が都市？ではない風景です。

この一万年の間、地球の気候が極めて安定している。深層海流がゆつくりと循環し、表面海流の黒潮や親潮より、地球全体の気候を安定化をさせているのです。

日本の歴史は「古事記」にみる二千年の歴史を有した精神構造は世界に類がない。グローバリゼーションとは、「世界の人々の生活スタイルの均一化（アメリカ化）」を促進することといえます。

日本の深層海流

これからの日本の将来は、国際化社会の中で生きていかざるを得ません。今よりもっと外国人との交流や外国の文化に接する機会が多くなっていくことで

うことでもあります。民族や文化が違う人々が、その違いを尊重しつつ、戦争のない平和な社会を作っていくことが、本当の意味の国際化だと思います。日本の「天皇」は世界に類を見ない。世界の深層海流です。



(有)西川経営オフィスサービス
中村会計 事務所便り
2012年5月28日 (月) NO. 252
地域から明るい未来を作ろう